

キャラクター名
平岡健一郎

プレイヤー名

シンドローム	バロール ソラリス		ワークス	高校生	カヴァー	魔術師
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	忘却	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	神秘家	経験	結社	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	0	1			4	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
	P	N			
テンノウヘイカ	P 尽力	N 偏愛			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
死神の瞳	5	3	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 射撃対決。成功で次ダメージ【LV+2】D								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 次の行動は失敗する、シナリオ1回								
流血の孢子	5	2	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 射撃対決。成功で邪毒【LV】								
オーバードーズ	1	4	メジャー/リアクション	-	-	シンドローム	100%	
効果: これを絡めたエフェクトのLVを+2								
ポイズンフォッグ	3	2	メジャー	至近	範囲(選択)	シンドローム	-	
効果: これを絡めたエフェクトを範囲(選択)化、シナリオLV回								
コンセントレイト(バロール)	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: クリティカル値-LV								
アウトブレイク	1	6	メジャー	視界	範囲(選択)	シンドローム	リミット	
効果: 前提・ポイズンフォッグ アウトブレイクを射程:視界に シナリオ1回								
天照ノ祈り	3							
効果:								
魔人の心臓	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100%	
効果: 判定LV×3デバフ、マイナー解除								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生家・日本・東京。所属、第一高等学校一部所属。誕生日、陸月拾日。三男二女の長男である。半年ほど前。日独の友好を深めるためという名目のもと、日本国中の学生が独逸への長期留学が行われた。だがその実態は天照大御神が籠ったとされる天之岩屋から取り出された最高の神秘、触天の珠。またの名を賢者の石と言われる幻の遺物を手に入れるため、宮内省主体で作られた神秘について「知っている」学生主体の部隊である。平岡健一郎は賢者の石について、それどころか神秘についてすら一片の知識がない。それなのに選出されたのには父母の神秘に関する知識と伝手、本人の忠誠の高さによって選ばれた。

平岡の両家系は掌典職。つまり皇室の行事を司る存在に多く所属する家系である。そして特に父、平岡昭三は「神秘、奇跡に必要な素質と条件」についての著書を出し実際にその説を夫婦で実現させた、現在で言うレネゲイドウイルスの影響を神学における解釈で研究を行った偉大な権威かつ、現代の記録に残っている貴重なオーヴァードであった。だがしかし健一郎は血族や環境といった条件をほぼ満たしているにもかかわらず神秘を発現させることができなかった。そして何よりも、天地開闢の神の血族以外に奇跡が発生しうるこの説を認められなかったのだ。そうだった理由で父と対立し険悪な関係でありつつも、日本国最高の高等学校、第一高等学校に語学分野で進学し、自身の実力を認めさせることで絶縁しないぐらいには関係を維持していた。よって彼自体は神秘についてほぼ知識がない。しかしそれでもこの留学に選ばれたのはその親とのつながりを期待して、というもあるが、それよりもその狂気的までの忠誠心であった。

独逸についた彼は探索隊として直接、そして隠密に賢者の石を探そうとする教師も混じった捜索隊とはまた別に、現地で協力してくれそうな人を探す集団に参加し、無知の状態から魔術協会を見つけてという大手柄を挙げる。しかしその合流途中に魔術協会の男が使用した正体不明の業(ワーディング)によって気絶してしまふ。